

垂井町立東小学校で防災講座を行いました

令和6年12月6日（金）、垂井町立東小学校で5年生63名に防災講座を行いました。学校の近くには、相川が流れています。この学校での講座は、昨年に引き続き2回目です。

垂井町は、今年の台風10号で浸水被害が発生しました。講座では、垂井町でも被害のあった昭和34年8月の集中豪雨や伊勢湾台風、9.12豪雨など過去の水害を学習しました。浸水疑似体験映像の視聴では、警報が出てはまだ大丈夫だろうと避難を躊躇う主人公に対し、「遅い」「避難できる間にした方がいいと思う」との声があがり、避難への意識が高いことが分かりました。

また、線状降水帯を知っている児童は多くはいませんでしたが、発生時の雨雲を見て「ずっとかかり続けている」「怖い」と驚き、線状降水帯による大雨の恐ろしさが伝わった様子でした。

代表の児童からは、「家で話し合ったことがないので、帰ったら家族で話し合ったり、避難場所の確認をしたいです。」などの感想がありました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

なお、講座の様子は、大垣ケーブルテレビに取材頂きました。

